

シーシーエス株式会社
2013年7月期第1四半期
決算説明



2012年12月13日

JASDAQ コード6669

目次

1. 2013年7月期 第1四半期決算概要
2. 2013年7月期 第1四半期事業分野別の状況
3. 参考資料～会社概要

1. 2013年7月期 第1四半期決算概要

決算キーポイント

2012年7月期1Q			2013年7月期1Q	
売上	:1,192百万円	➡	売上	:1,058百万円
営業利益	:▲40百万円		営業利益	:38百万円

売上は減少したものの、
利益率の改善・販管費の削減により営業利益は1Qで黒字化へ

売上:▲134百万円 営業利益:+78百万

- ①売上総利益率の改善 60.2%→61.3% +1.1%の改善
 - ・不採算事業からの撤退（コンシューマー向け新規事業）
 - ・生産コスト削減
- ②販売管理費の削減 758百万円→611百万円 ▲147百万円減
 - ・植物育成プラント事業(FPT) ▲50百万円
 - ・新規事業 ▲30百万円

2013年7月期第1四半期 連結業績

(単位:百万円)

	2012/7期1Q		2013/7期1Q		増減	
	累計実績		累計実績		前年同期比	
	金額 [A]	売上比 (%)	金額 [B]	売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	1,192	100.0	1,058	100.0	▲134	▲11.2
売上総利益	718	60.2	649	61.4	▲68	▲9.6
販管費	758	63.7	611	57.8	▲147	▲19.5
営業利益	▲40	▲3.4	38	3.6	+78	黒字化へ
経常利益	▲56	▲4.8	21	2.0	+77	黒字化へ
当期純損益	▲58	▲4.9	15	1.4	+74	黒字化へ

	前年同期比	キーポイント
売上高	➡	世界経済停滞の影響を受け売上減
販管費	➡	不採算事業の撤退により減少
営業利益	➡	利益率の改善、販管費の削減で黒字化へ
当期純損益	➡	黒字化へ

事業別の状況

(単位:百万円)

売上高	2012/7 期1Q	2013/7 期1Q	増減	
	累計実績 [A]	累計実績 [B]	前年同期比 [B] - [A]	[B] / [A] - 1(%)
LED照明事業	1,186	1,058	▲127	▲10.8
植物育成プラント事業	6	—	▲6	—

世界経済の停滞による設備投資抑制の影響を受け、売上は減少しました。
植物育成プラント事業は2012年4月をもちまして撤退しました。

(単位:百万円)

営業利益	2012/7 期1Q	2013/7 期1Q	増減	
	累計実績 [A]	累計実績 [B]	前年同期比 [B] - [A]	[B] / [A] - 1(%)
LED照明事業	4	38	+33	+735.9
植物育成プラント事業	▲45	—	+45	—

売上総利益率の改善と販売管理費の削減により、営業利益は増加しました。
植物育成プラント事業は2012年4月をもちまして撤退しました。

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

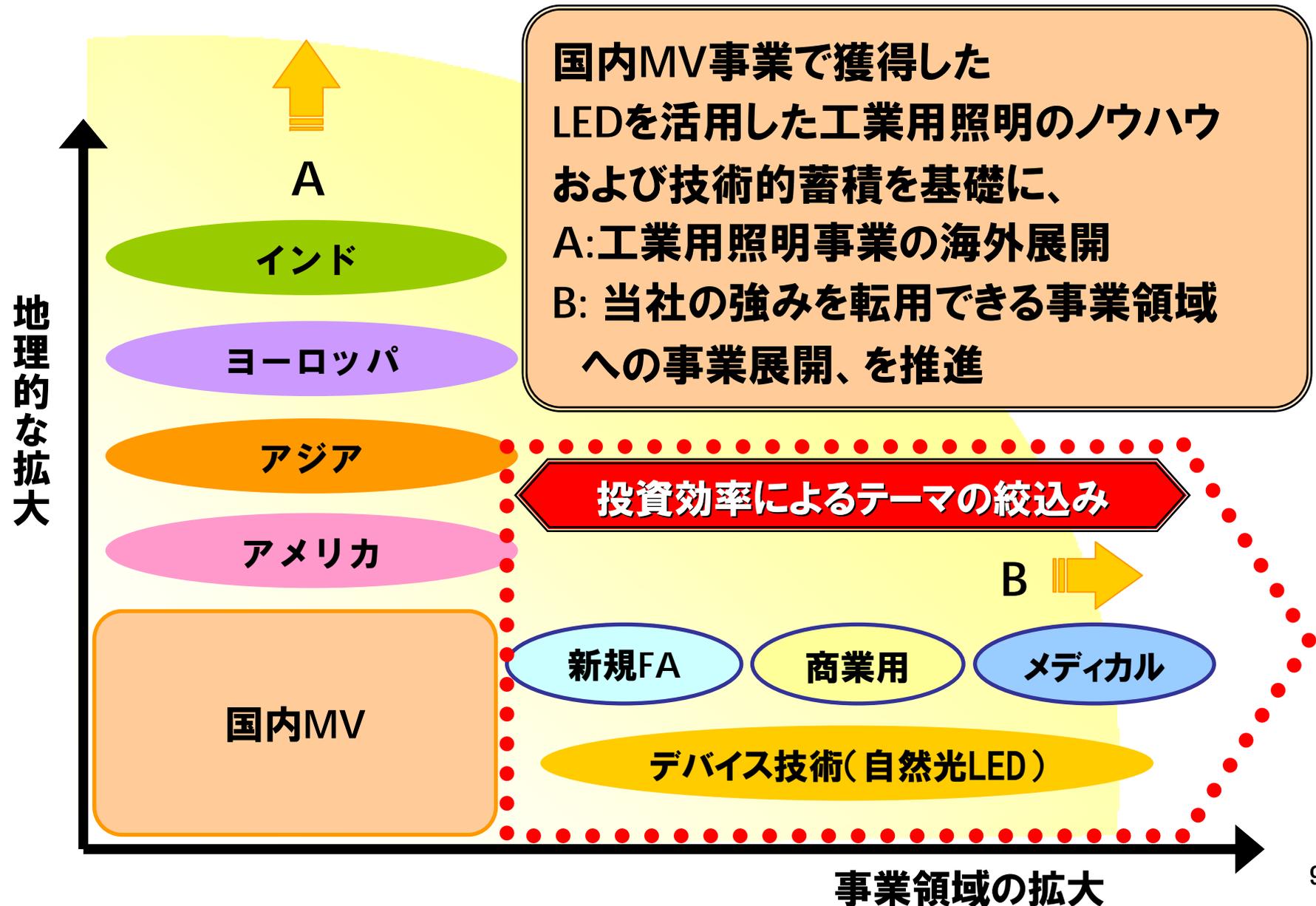
資産	12/7 期末	13/7 1Q	負債・純資産	12 /7 期末	13/7 1Q
現金及び預金	1,207	1,378	流動負債	2,146	2,125
受取手形・売掛金	1,425	1,053	固定負債	1,447	1,287
たな卸資産	1,077	1,081			
その他	230	237			
流動資産合計	3,941	3,750	負債合計	3,593	3,413
有形固定資産	1,400	1,398	資本金	462	462
無形固定資産	56	52	資本剰余金	1,514	1,460
投資その他の資産	95	98	利益剰余金	93	108
			為替換算調整勘定	▲169	▲144
固定資産合計	1,553	1,549	純資産合計	1,900	1,886
資産合計	5,494	5,300	負債・純資産合計	5,494	5,300

売掛金の回収が進んだことにより、受取手形・売掛金が減少し、現金が増加しました。
また長期借入金の返済により、固定負債が減少しました。

2. 2013年7月期第1四半期 事業分野別の状況

- ① 当社の事業戦略
- ② 工業用照明事業
- ③ 新規事業

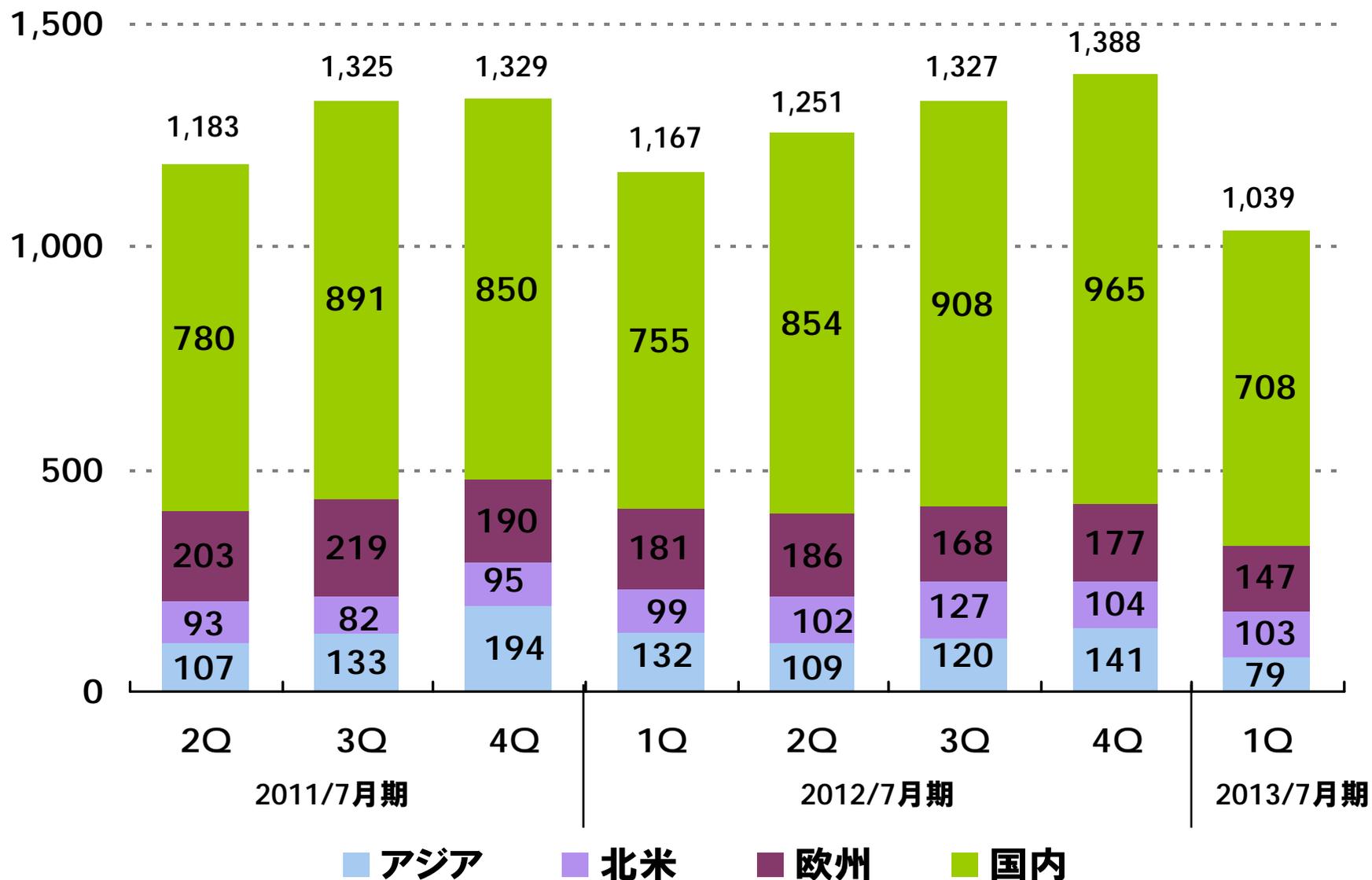
①当社の事業戦略



②工業用照明事業 地域別売上高(四半期毎)

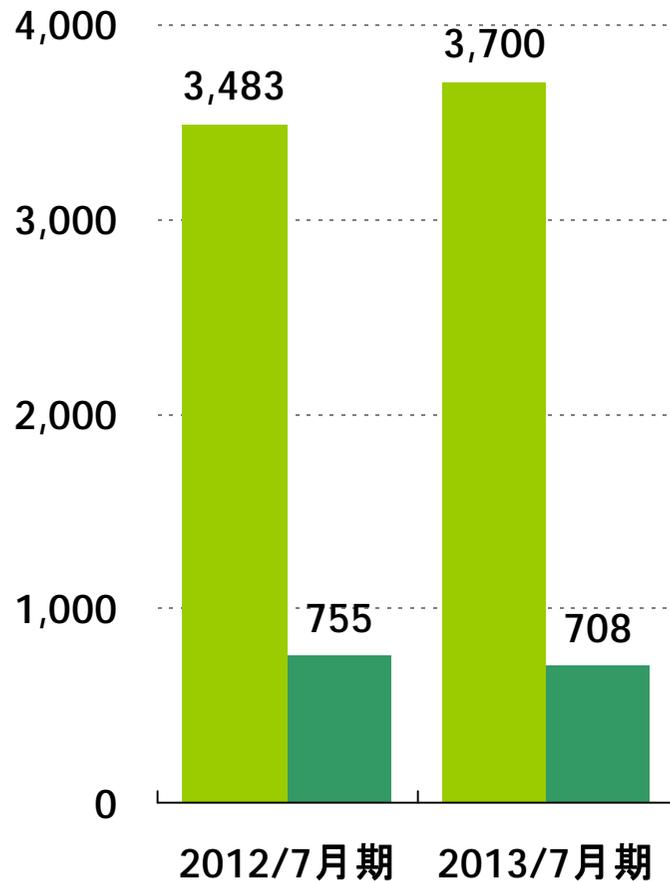


(単位:百万円) (2011年7月期2Q~2013年7月期1Q)



②工業用照明事業(国内)

(単位:百万円)



■ 19期通期実績/20期通期計画

■ 第1Q売上実績

当社の状況

- ・世界経済停滞による設備投資抑制の影響を受け市場は停滞。

- ・競争の激化。

<対策>

- ・新しい事業領域となるラインセンサ市場、UV照射器市場の開拓、製品投入を加速。

⇒新規アプリ、新規顧客の開拓促進。

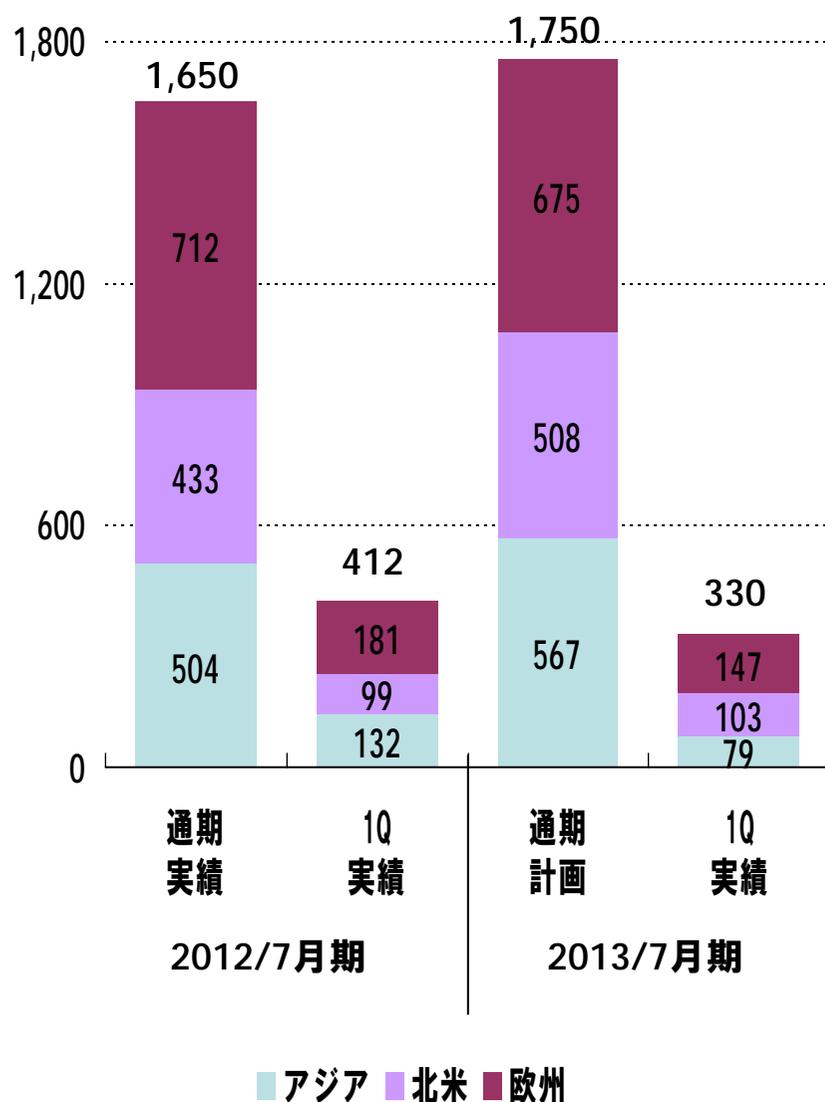
- ・営業体制の抜本的見直しによる責任の明確化、機動性の向上。

⇒国内営業、海外営業との連携強化。

⇒製品企画、製品開発のスピードアップ。

②工業用照明事業(海外)

(単位:百万円)



当社の状況

- ・欧州 : 欧州経済危機の深刻化により売上は減少。
- ・北米 : 主要顧客への関係強化および、営業強化が実を結び、売上伸長。
- ・アジア: シンガポール、台湾は堅調に推移したものの、中国・韓国の落ち込みによりアジア全体では売上減少。

シンガポール+2百万円、台湾+3百万円
中国▲37百万円、韓国▲21百万円

⇒中国LED照明メーカー、CSTとの資本・業務提携の協議を開始(2012年10月)。

<2012/7期1Qレート>

1USD=76.98円 1EUR=107.48円 1SGD=62.01円

<2013/7期1Qレート>

1USD=78.64円 1EUR=100.02円 1SGD=63.66円

②工業用照明事業(トピックス)

事業領域拡大のための新製品を投入

- ・ラインセンサ用LED照明のラインアップ拡充
高照度ラインセンサ用LED照明 「LNSP-FNシリーズ」
高出力紫外(UV)照射LED照明 「LNSP-UV-FNシリーズ」
専用電源 「PSCC-60048」を同時発売 (2012年11月発売)

今まで培った技術・ノウハウを横展開し、新規顧客・新規アプリを開拓。

LNSP-FNシリーズ

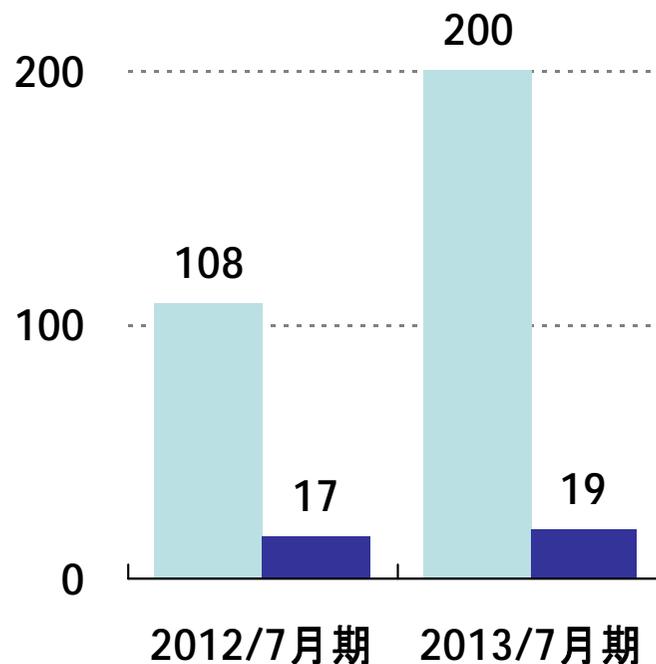


専用電源PSCC-60048

LNSP-UV-FNシリーズ

③新規事業

(単位:百万円)



■ 2012/7期通期実績、2013/7期通期計画
■ 第1Q売上実績

当社の状況

・美術館・博物館分野

下期新製品発売に向け製品を開発中。
ラインアップ強化によるセット提案を行う。

・メディカル分野

全国の代理店に営業展開中。

・アグリバイオ分野(フィリップスLED照明)

全国の植物工場に対し、
コンサルティング営業を展開中。

・デバイス事業

自然光LEDおよびUVLEDデバイスの引き合いが増加。確実に案件を獲得していく。

③新規事業(トピックス)

「自然光LED」製品を中心とした製品ラインナップの拡充

・美術館・博物館用スポットLED照明

「MUSEUM COB SPOT LIGHT」を発売(2012年8月)



MUSEUM COB SPOT LIGHT

- ・「自然光LED」搭載スポットライト
- ・Ra:96(平均演色評価数)
- ・配光ムラ、色ムラがなく美しく優しい光を実現。

アサヒビール大山崎山荘美術館様

2012年10月19日～2013年1月14日 企画展「うつわのちから」
常設展 クロード・モネ《睡蓮》の展示用照明として採用。

(株)川島織物セルコン様 織物文化館

演色性の高さ、損傷に対する配慮が高く評価され、
歴史的な染色遺産を所蔵する織物文化館の展示用
照明として採用。



常設展《睡蓮》展示室

3. 参考資料 ～会社概要～

光を科学し、社会に貢献する

Creative Customer Satisfaction
クリエイティブ カスタマー サティスファクション

『お客様に愛と感謝』を実践するために、
「QUALITY FIRST」を堅持し、
顧客の付加価値の創造を極めることによって、
「安心」と「信頼」と「感動」を提供し、
お客様満足の最大化をはかります。

会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表執行役社長 各務 嘉郎
- 創業 1992年
- 設立 1993年10月
- 資本金 462百万円
- 従業員数 連結 206名(連結)、180名(単体)
- 発行済株式総数 普通株式 20,690株
A種優先株式 5,103株
- 株主数 普通株式 2,701名
A種優先株式 4名
- 連結子会社 CCS America Inc. / CCS Asia PTE.LTD./ CCS Europe NV./CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVT.LTD.
- 拠点数 国内 6ヵ所 / 海外(連結子会社含む) 7ヶ所



本社(京都市上京区)

(2012年7月末現在)

沿革



- 1992 創業
- 1993 シーシーエス株式会社設立
- 1999 CCS America Inc.(100%子会社)を設立(ボストン)
- 2000 東京営業所を開設(品川区高輪台)
- 2001 本社移転(現在の本社)
- 2003 上海事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 ジャスダックに上場
RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
- 2007 生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)
仙台テストングルームを開設(宮城県仙台市青葉区)
KRPで研究開発事務所を開設(京都市下京区)
山口大学との共同開発で「自然光LED」照明を開発
- 2008 シーシーエス光技術研究所を開設(京都市上京区)
深セン駐在員事務所を開設(中国広東省深セン市)
名古屋営業所を開設(名古屋市中村区)
植物育成プラント事業に参画することを目的としてフェアリープラントテクノロジー社
(2010年9月29日フェアリーエンジェル社より商号変更)を連結子会社化
- 2009 医療機器製造業および第三種医療機器製造販売業に関する許可を取得
- 2010 タイ・バンコクにCCS Asia PTE.LTD.駐在員事務所を開設
- 2011 CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTDを設立(インド)
- 2012 連結子会社であるフェアリープラントテクノロジーを解散

参考資料:LED開発の歩み

- 1962年 赤色と黄緑色が開発
- 1970年代 赤色と黄緑色が実用化
- 1993年 青色が製品化
- 1995年 純緑色の開発
光の三原色がそろそろ
- 1996年 白色が開発

- 現在 発光効率の向上
高演色性白色の開発

シーシーエスの事業領域

新規事業分野



工業用照明分野

マシンビジョン用照明分野

(エリア照明・ラインセンサ用照明)

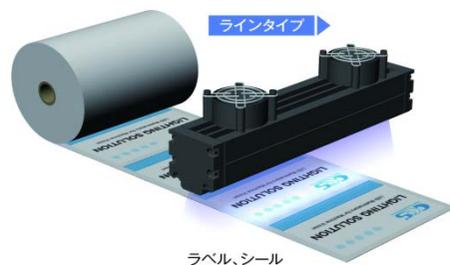


新規FA分野照明

(UV照射器

顕微鏡用照明)

■ UVインクの硬化



ラベル、シール

商業分野

美術館・博物館用照明



メディカル分野



アグリバイオ分野



信頼の実績とサポート体制

- 40,000件以上のワーク撮像実績
- 約4,000種類のカスタム照明の設計・開発・製作
- 数百種類、数千台に及ぶ無料貸出機を準備
- エリア実験室、ラインセンサ用実験室を完備



エリア実験室



ラインセンサ用実験室

LEDデバイス技術

【SMDパッケージング技術】

高効率化

【蛍光体】

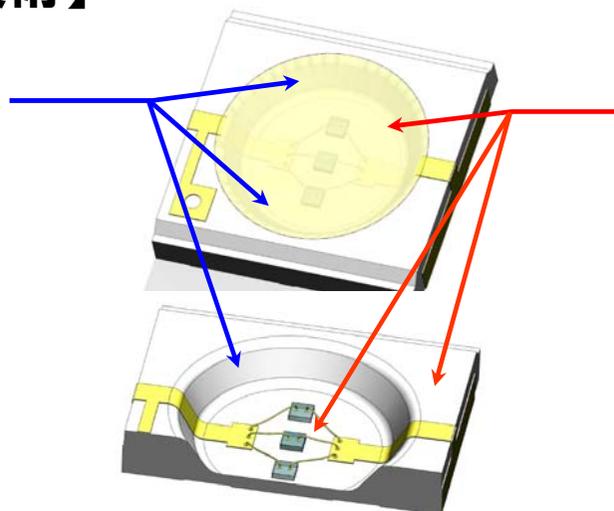
材料及び封止方法の最適化

【封止樹脂】

材料特性、表面形状の最適化

【リフレクタ形状最適化】

壁面高さ、角度、高反射率



長寿命化

【封止樹脂】

耐熱・耐光性向上

【ボンディング材料】

耐熱・耐光性向上、高放熱性

【パッケージ材料】

高反射率、高放熱性

【COB実装技術】

高効率化

【蛍光体】

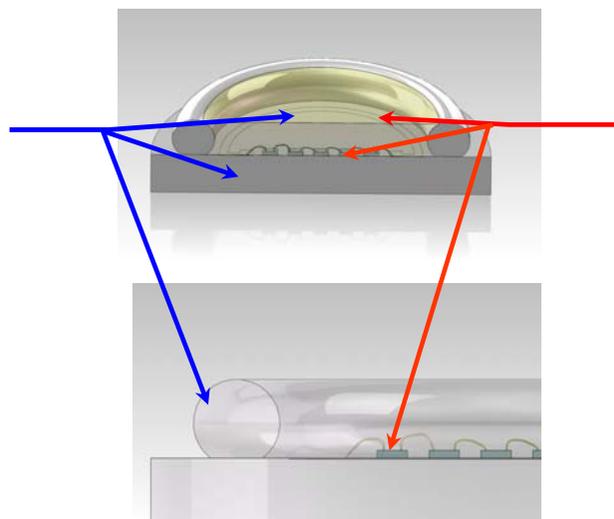
材料及び封止方法の最適化

【ダム材】

高反射率、成型化

【基板材料】

高反射率、高放熱



長寿命化

【封止樹脂】

耐熱・耐光性向上

【実装パターン】

狭ピッチ、高反射率

【ボンディング材料】

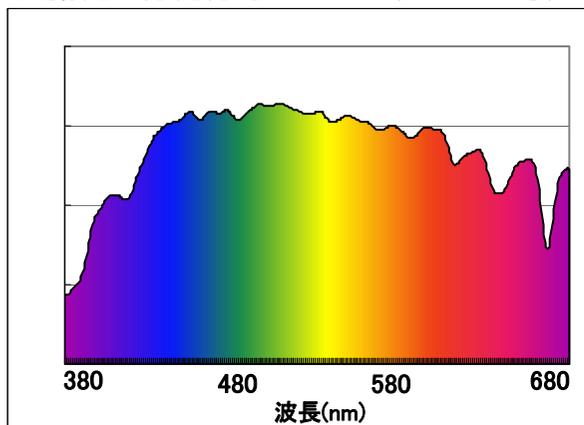
耐熱、耐光性向上、高放熱性

「自然光LED」とは

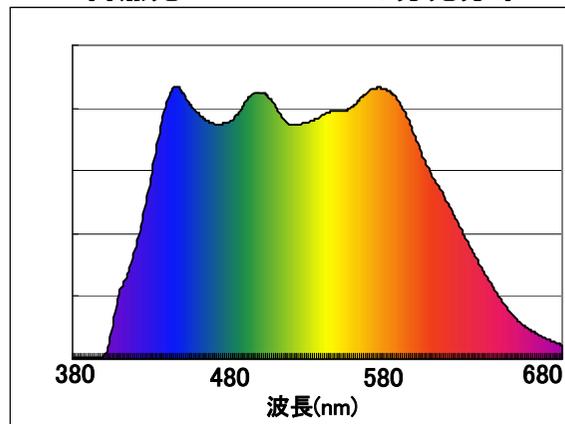


独自に開発した太陽光に近い光を再現する「自然光LED」
色の再現性を標準化・数値化した平均演色評価数において、
業界最高クラス“Ra98”(相関色温度:5000 K)を達成

太陽光の分光分布 5200 K(AM:10時)

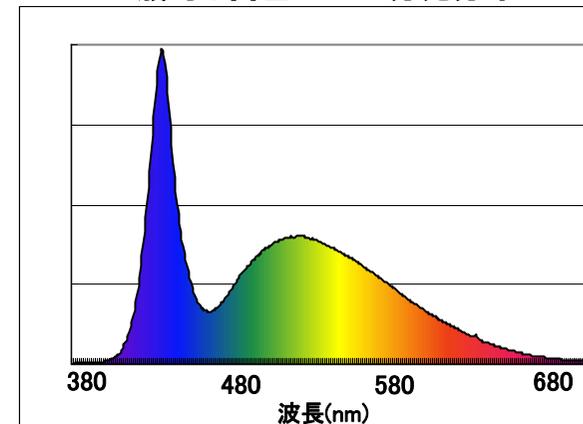


“自然光LED5000 K”の分光分布



太陽光に近い分光分布で物体の色を忠実に再現

一般的な白色LEDの分光分布



青色LEDの青が極端に強い



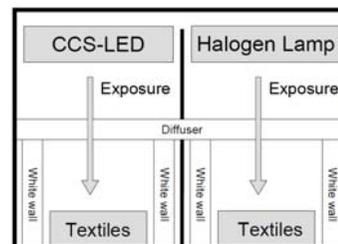
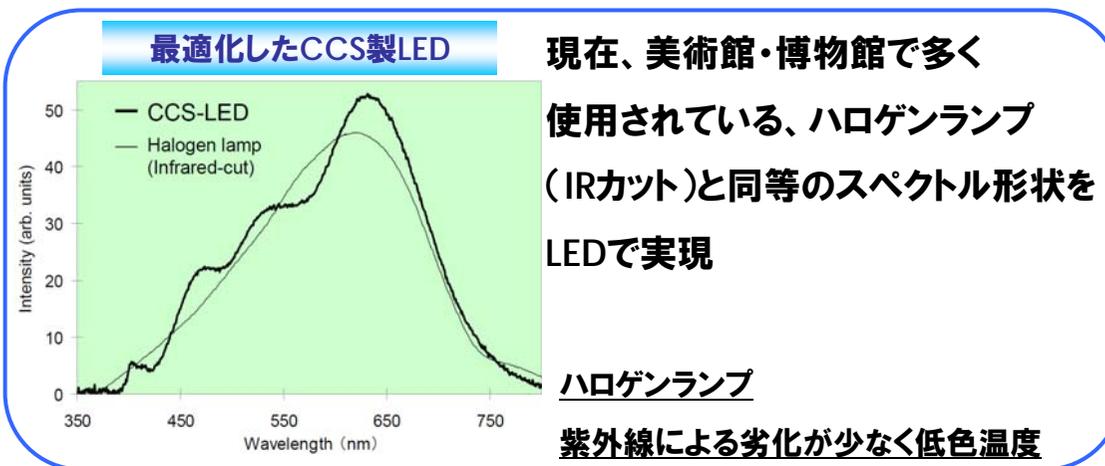
肌の色も自然に美しく魅せることができます

学会への発表

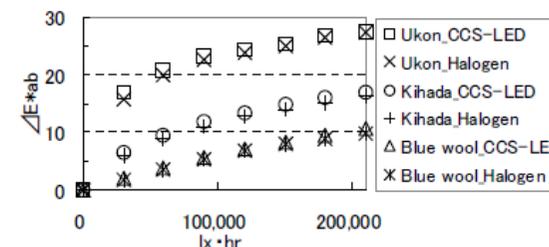
平成24年度 照明学会第45回 全国大会

9-8 ハロゲンランプと同等の可視域分光分布を持つLEDの開発と被照射物に対する低損傷性の評価

八木一乃大 問屋昌弘 宮下猛 小西淳 河野通孝 井手亜里
 (シーシーエス株式会社) (山口県立美術館) (京都大学)



長期照射実験装置の概要



長期照射に対する染色布の退色結果

CCS製LEDがハロゲンランプと同等の低損傷性であることが実験的に検証された



研究資料:
 ○創造的実用における最適な照度および色温度
 資料:
 ○魅力あふれる新たな水の回廊ライトアップ

平成 24 年度照明学会第 45 回全国大会

9-9 紫色 LED を利用した美術館展示に関する研究 —絵画・色票における色の見えの評価—

塚田 直喜 工藤 悟 吉澤 望 宮下 猛 藤原 工
 (東京理科大学大学院) (東京理科大学) (シーシーエス (株)) ((株) 灯工会)

平成 24 年度照明学会第 45 回全国大会

5-13 ミュージアムにおける色温度可変展示の考察

藤原 工 松岡 寛哲 八木 一乃大
 (株式会社灯工会) (シーシーエス株式会社)

「自然光LED」搭載照明の商品化に注力

商業施設の商品ディスプレイ用、ショーケース用照明

高い演色性
そのものの色を忠実に再現!

アパレル

洋服やネクタイ、バックや宝石、化粧品などの本来の色を忠実に再現!



自然光LED

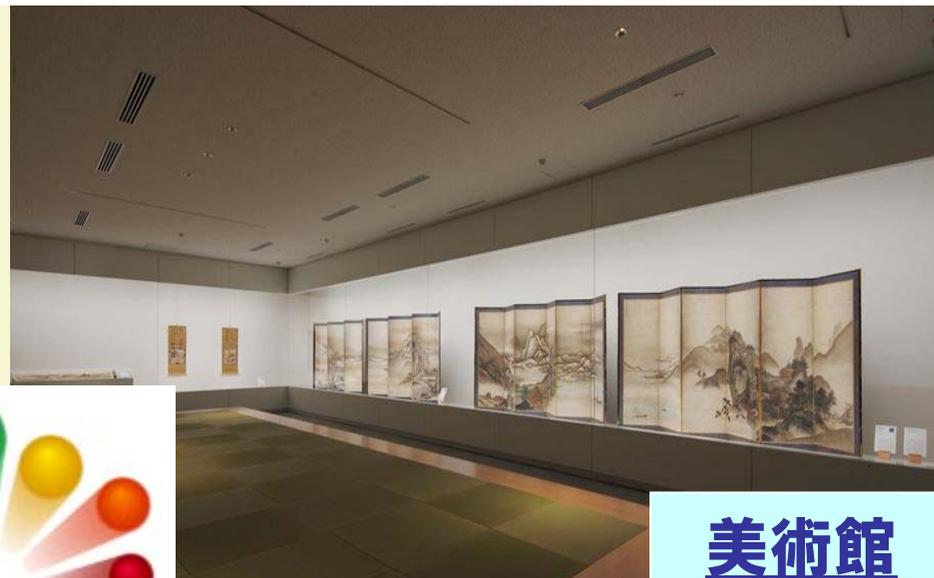
生鮮食品などのショーケース用照明

光源から熱を出さず
生鮮食品を傷めず、店内の空調コストも抑制できます。

こんなに見え方が違います!
特に赤い野菜や果物は自然光LEDの光で色が鮮やかに見えます。もちろん、手も自然光LEDのもとでは肌の色がきれいに見えます。



食品



美術館



ホテル・会場

